

コース名	生産現場力強化シリーズ⑥ 5SとIEで進める製造現場の生産性向上		
研修のねらい	<p>納期が迫れば残業や休日出勤もやむなし・・・中小企業の製造現場ではよく聞かれる話です。しかし、「働き方改革」が叫ばれる昨今、法外な残業や休日出勤をしているのは、従業員の健康はおろか、会社の存続さえも危ぶまれるようになってきました。「生産性向上」というと、設備の導入などを考えてしまう傾向もありますが、現場に密着した足元の「ムダ発見」から「ムダの除去」までを実践すれば、生産性は必ず向上します。</p> <p>この研修では、製造現場ですぐには使わない材料や工具、さらには仕掛品が、逆に作業を妨げ、ムダを生み、企業利益を圧迫することを理解し、「ムダ発見」から「ムダの除去」までを製造現場で実践する方法を演習を通じて学びます。「5Sと見える化の定着」「IEによる作業改善」を両輪として、製造現場の生産性向上と収益改善が実現することを演習を通じて学び、自社の課題解決につなげていきます。</p>		
研修の特長	<ul style="list-style-type: none"> ・演習中心の実践的な研修です。 ・日常、当たり前に行動している中に驚くほどの「ムダ」があることに気づくようになります。 ・どうやって「ムダ」を除去するか、そのやり方を理解し実践する力がつきます。 ・会社を代表してお一人でもご参加ください。会社は必ず変わります。 		
研修期間	2017年8月28日(月曜)～8月30日(水曜) ※『研修ガイド2017』では8月29日(火曜)～8月31日(木曜)とご紹介していますが、日程が変更となりました。ご注意ください。		
受講対象者	経営幹部、管理者	定員	35名 受講料 31,000円

月日	時間	科目	講師	内容
8月28日(月曜)	9時20分～9時40分	オリエンテーション	担当職員	
	9時40分～12時40分	企業経営の財務と、生産性、収益性の位置づけ	山名 敏文 5S経営研究所株式会社 代表取締役	企業経営の仕組みとその成果として表れる財務の結果について解説し、生産性、収益性を阻害する要因を解説する。特に「原価」算定におけるムダが入り込んだ状況での「見積原価」と「実際原価」の相違によって、収益に繋がらない実態を学ぶ。
	13時40分～18時10分	5Sと目で見える管理(演習)		5S活動の定義を解説するとともに、その着眼点や改善の方法について、演習を通じて習得する。目で見える管理の着眼点とその実施方法について、5S活動の維持は「見える化」がどこまでできているかで決まることを講義と演習を通じて習得する。
8月29日(火曜)	9時20分～17時50分 (昼休12時20分～13時20分)	IE技法の使い方(演習)		IE技法の体系と、各手法の使い方と適用分野、留意点について解説する。簡単な演習を通じて、その使い方と得られたデータの読み方を習得する。IEは産業革命以降、欧州で発達した技法であるが、5Sの考え方も入っており、5SとIE技法の関連について学ぶ。
8月30日(水曜)	9時20分～12時20分	5SとIEによる改善効果(演習)	山名 敏文 5S経営研究所株式会社 代表取締役	5SとIE技法を組み合わせる改善する演習を通じて、総合的な現場改善の取り組み方を習得する。着眼点として、特に「改善」の考え方、実行の仕方を学ぶ。
	13時20分～16時20分	自社課題解決(演習)		自社に戻って、即実践できることを目的として、5SとIEの両面から自社の課題を取り上げ、改善計画を立案する。
	16時20分～16時40分	修了証書授与		担当職員

講師氏名	略歴
山名 敏文 (やまな としふみ) 5S経営研究所株式会社 代表取締役	5S経営研究所株式会社代表取締役、中小企業診断士 名古屋工業大学卒。メーカーで研究・開発、生産管理、品質管理、労務管理の分野で活躍。その後(社)中部産業連盟に入職し、現場主義のモノづくりを提唱、創造的現場技術の向上をテーマに多くの製造会社の生産性向上を支援。1996年に独立し、5S経営研究所設立。主な著書として、「工場まるごとコストダウン事典」、「改善のための5Sと英語表現」(共著)がある。

29年度コース別受講申込書 (FAX)

FAX.042-590-2685

★この申込書は当校で受領後、受講者情報右欄の受付状況を記載し、折り返しFAXいたします。必ずご確認ください。

中小企業大学校 東京校長 殿

年 月 日

フリガナ				代表者役職			
会社名				代表者氏名			
所在地	〒 都道府県						
TEL				FAX			
業種	E.製造業 I-1.卸売業 I-2.小売業 R.サービス業 D.建設業 G.情報通信業 H.運輸業 M.旅館業 Z.その他 具体的に()			業種分類 (製造業のみ○印をおつけください)	9.食品 10.飲料 11.繊維 11.衣料 12.木材 13.家具 14.紙 15.印刷 16.化学 17.石油 18.プラスチック 19.ゴム 20.皮革製品 21.窯業 22.鉄鋼 23.非鉄金属 24.金属製品 25.はん用機械 27.業務用機械 28.電子部品 29.電気機械 30.情報通信機械 31.輸送用機械 32.その他製造業		
主要取扱品目				資本金	万円	従業員数	人
東京校での受講実績	ある(経営後継者・経営管理者・工場管理者養成コース・その他研修) ・ない ※↑受講実績のある方は、どの研修を受講された経験があるか○をしてください。			東京校メルマガ発行時の送信可否	可 ・ 不可		
研修情報の入手先	1.ダイレクトメール 2.研修ガイド 3.ホームページ 4.受講者の紹介 5.商工団体等 6.金融機関 7.新聞・雑誌 8.テレビ・ラジオ 9.区市等の機関紙 10.展示会等 11.その他()					人材育成計画作成への関心	ある ・ ない
事務連絡担当者	フリガナ 氏名	部署 役職	担当者E-mail				

受講コース名		コースNo.	No.
--------	--	--------	-----

受講者情報①	フリガナ	年齢	性別	部署	受付状況①	受講いただけます	
	氏名	歳	男・女	役職(役職を記載の上該当区分に○) (代表者・役員・管理者・管理者候補等)		受講決定通知兼振込依頼書を開講の約1ヶ月前に連絡担当者様へ発送いたします。	
	受講者E-mail					キャンセル待ち 番です	
	【入寮申し込み】必ず受講者本人にご確認をお願いします。概要箇所の○印にチェックを入れてください。					キャンセルが発生次第、ご連絡いたします。	
	入寮する ○	⇒	入寮日	~	退寮日		
			研修開始日 ○		研修終了日 ○		
	入寮しない ○		研修開始日の前日 ○		研修終了日の翌日 ○		

- 1) 太枠内の該当箇所に○印をおつけください。また、入寮希望の有無・入退寮日につきましては、受講予定者本人にご確認をお願いします。
- 2) 入寮された場合の部屋割りについては、受入人数の都合で、ご希望に添えない場合があります。
- 3) より多くの企業の皆様にご受講いただきたいために、原則として1コースあたり社2名様までのお申し込みとさせていただきます。(一部コースを除く。詳しくは研修概要をご覧ください。)なお、2名様をこえる場合はキャンセル待ち扱いとなります。
- 4) 次のコースの申込書は別様式ですので、専用パンフレットをご請求下さい。「経営後継者研修」「経営管理者研修」
- 5) 受付状況がキャンセル待ちの場合、キャンセルが発生しだいご連絡いたします。受講可能な場合には、「受講決定通知兼振込依頼書」を事務連絡ご担当者様へ発送いたします。
- 6) 複数コースお申込みされる場合、申込書はコピーしてご利用ください。

個人情報の保護について 個人情報保護法に定義されます個人情報に該当する情報については、中小機構内で実施する事業で使用させていただきます。当該個人情報の第三者(業務委託先を除く)への提供または開示はいたしません。ただし、お客様の同意がある場合および、法令に基づき要請された場合については、当該個人情報を提供できるものといたします。

大学校使用欄				
--------	--	--	--	--